

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	修紅短期大学
設置者名	学校法人健康科学大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	幼児教育学科	夜・通信		54	54	54	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

実務経験のある教員等による授業科目であることをシラバスに明記し、学生ほか閲覧できるよう、短大HPにも掲載し公表している。 短大HP： https://shuko.ac.jp/youkyou/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	修紅短期大学
設置者名	学校法人健康科学大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人ホームページにより公表
<https://www.gakukendai.ac.jp/about/682/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2025.5.23～ 3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	経営全般の企画
非常勤	団体役員	2025.5.23～3 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	組織運営体制の管理
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	修紅短期大学
設置者名	学校法人健康科学大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)を作成するにあたり、全教員に対しシラバス作成要領を配布し記載内容の統一化を図っている。作成した授業計画(シラバス)については第三者によるチェックを実施、完成した授業計画(シラバス)は全学生が閲覧できるよう周知するとともに、短大HPに掲載するなどの公表の取組みを行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	短大HP： https://shuko.ac.jp/youkyou/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) グループワークへの取組状況、質疑応答への取組み、レスポンスカードの回収などによる学生の学修意欲の把握をし、試験やレポート、実技などを通して成績を評価し単位を付与している。単位認定や成績評価、基準等については、学則で定めるとともに授業計画(シラバス)や学生便覧で示している。また、学修の成果、成績評価基準及び卒業認定にあたっての基準については短大HPで公表している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAを導入し、学生便覧や短大HPを通して全ての学生に周知している。客観的な指標の設定については、学則や学生便覧に記載しており、試験等による評価は、100～80点を「優」、79～70点を「良」、69～60点を「可」、59点以下を「不可」としたうえで、科目の成績点(GP)を「優」は3.00、「良」は2.00、「可」は1.00、「不可」は「0」と設定し、これに履修した科目の単位数を乗じた数値を履修登録科目の単位数の合計で除した数値を評定平均値(GPA)として算出している。また、学生一人ひとりのGPAを算出し、個人の成績状況や全体的な分布状況を把握している。成績分布状況については短大HPに公表している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧、短大HP：https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>建学の精神や大学及び学科の教育目的を踏まえ、学位授与の方針(ディプロマポリシー)を大学全体及び学科ごとに策定している。この方針にもとづき、学科で卒業に必要な単位数や卒業認定に関する基準を学生に示している。公表方法については、学則のほか学生便覧、短大HPなどで公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学生便覧、短大HP：https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	修紅短期大学
設置者名	学校法人健康科学大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.gakukendai.ac.jp/data/16/
収支計算書又は損益計算書	https://www.gakukendai.ac.jp/data/16/
財産目録	https://www.gakukendai.ac.jp/data/16/
事業報告書	https://www.gakukendai.ac.jp/data/16/
監事による監査報告(書)	https://www.gakukendai.ac.jp/data/16/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 短大HP: https://shuko.ac.jp/disclosure5_2/ 令和6年度に一般財団法人短期大学基準協会による認証評価を受審し「適格」の判定を取得している。また自己点検・評価を実施し、報告書にまとめたうえ本学HPで公表している。

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育学科
教育研究上の目的 (公表方法：学生便覧、短大 HP： https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/) (概要) 幼児教育学科は、「幼児教育及び保育に関する専門的な知識を身につけさせ、実践のために必要な技能を養い、豊かな教養をもち社会に貢献できる人材を育成する。」 ことを教育目的に掲げている。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：学生便覧、短大 HP： https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/) (概要) 幼児教育学科では、学位授与の方針（卒業認定方針）を次のように示している。 1. 乳幼児期を中心とした子どもに関する豊富な専門的知識が身につけている。 2. 専門的知識・技術を実際の場面に応用し、自らの活動を省察し改善していく確かな実践力が身につけている。 3. 社会人としての豊かな教養と他者への共感力が身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：学生便覧、短大 HP： https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/) (概要) 幼児教育学科では教育課程編成・実施の方針を次のように示している。 1. 幅広い学問分野や知見に触れ、豊かな教養を身につけさせる。 2. 乳幼児期を中心とした子ども観や現在の子どもに関わる多様な社会的問題を理解するとともに、子どもの発達に関する専門的知識を身につけさせる。 3. 実習・演習を通して、幼稚園教諭や保育士としての総合的な実践力を習得させる。 4. 地域社会における保育・教育課題を理解するとともに、家庭支援や特別支援に関する知識・技術を習得させる。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：学生便覧、短大 HP： https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/) (概要) 幼児教育学科では、入学者受入方針を次のように示している。 1. 子どもの発達や心の理解に高い興味・関心を持っている人 2. 地域のボランティア活動に対する興味・関心を持っている人 3. 音楽や美術、スポーツなどに日頃から興味・関心を持っている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：短大 HP：https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
幼児教育学科		3人	2人	人	2人	人	人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
1人				12人			12人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：短大HP： https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児教育学科	50人	25人	50%	100人	54人	54%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	50人	25人	50%	100人	54人	54%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育学科	25人 (100%)	0人 (0%)	24人 (96%)	1人 (4%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	25人 (100%)	0人 (0%)	24人 (96%)	1人 (4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 認定こども園、保育園、幼稚園				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業科目、授業方法及び内容、年間の授業計画については、学長、学科長、教務委員会等による検証・点検が行われている。また、幼稚園教諭、保育士などの養成校として各種資格や免許等を取得するうえで必要な授業科目を配置しており、授業方法や内容については授業計画（シラバス）の作成要領の配付により記載内容の統一化を図り、作成後には第三者チェックを行っている。年間の授業計画については、必要な回数が保持されるように学事日程を定めている</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>学修の成果に係る評価については、学則や学生便覧に明記している。また、成績評価の方法と基準については授業計画（シラバス）に記載している。 卒業認定については、学則に卒業要件及び認定について示している。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児教育学科	62 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：短大 HP：https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	幼児教育 学科	600,000 円	250,000 円	270,000 円	1 年次
		600,000 円	円	400,000 円	2 年次
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 幼稚園教諭、保育士の養成校として各種資格と免許取得、各種認定試験の受験に対応した授業科目を配置している。また、学生からの学修相談については学年主任等が応じるとともに、オフィスアワーを設定し学生の学修理解度を深めるための指導を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア支援及びキャリア支援委員会を設け、キャリア支援体制の整備・充実を図っている。また、求人紹介や斡旋、就職に係る指導や相談等に応じている。さらに、学生の就職意識の向上を図るため、外部の専門家を招き就職講演会を開催したり、地元ハローワーク等と連携し就職支援の強化を図ったりする等の取組みを行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学内に保健室を設置し、学生の軽微な体調不良等に対応している。全学的には年に一度健康診断を実施するなど、学生の心身の健康等について支援している。また、授業や実習（教育研究活動）中の事故等に備え、学生教育研究災害傷害保険への加入を義務付けている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：短大 HP： https://shuko.ac.jp/disclosure1_2/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。